

このたびは、レクサス純正「サーフボードアタッチメント」をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

なお、本品を他のお客様にお譲りになる時は必ず本書も合わせてお渡しください。

品 番

品 番

08308-00H40

取扱上の注意事項

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 注意 …… 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあります。

🔊 アドバイス …… より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 作業がしづらい場合は、脚立などを使用して作業を行ってください。
2. この取扱書に記載されていない、取り付けおよび使用法は絶対に行わないでください。
3. 記載事項を守らなかったために発生した破損、故障、事故につきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご了承ください。
4. 脱脂剤等の使用時は、火気に充分注意してください。

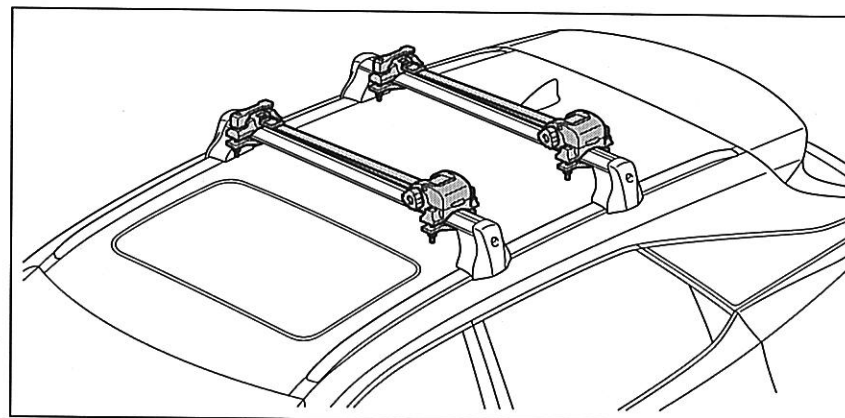
取り付けに必要な工具等

・脚立、軍手、ウェス、脱脂剤等

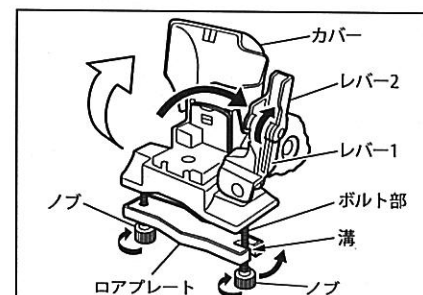
構成部品

サーフボードアタッチメントセット		
No.	品 名	個数
①	ラチェット本体	2
②	サブホルダー本体	2
③	ボルトキャップ	8
④	ゴムシートL	4
⑤	ゴムシートS	8
⑥	取扱書	1

取り付け概要



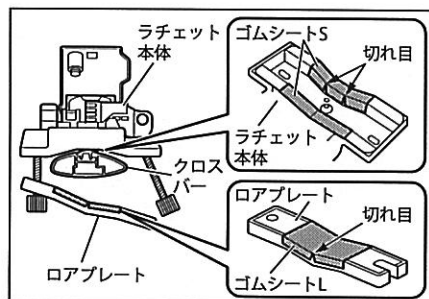
取り付け要領



本書はフロント側の取り付け要領を記載しています。指示以外はリヤ側を取り付ける際も同様の作業を行ってください。

ラチェット本体の取り付け

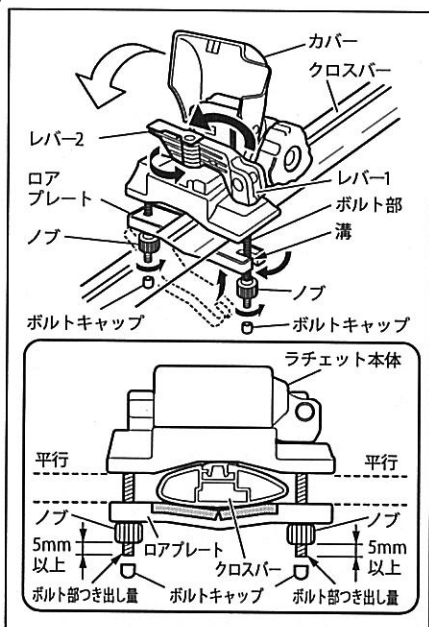
1. カバーを開けます。
2. レバー2を開いた後、レバー1を持ち上げ、ノブをリリースした状態にします。
3. ノブを回しロアプレートの溝からボルト部を外します。



4. 図示に従い、ラチェット本体とロアプレートがクロスバーと当たる面にゴムシートを貼り付けます。

△ 注意

ゴムシートを貼り付ける際、貼り付ける位置の水分・ほこり・油分等を充分拭き取り、脱脂処理をしてください。



5. ラチェット本体をクロスバーに載せ、ロアプレートの溝にボルト部を引っ掛けます。
6. 両側のボルト部つき出し量が5mm以上になるようノブで締め付けます。

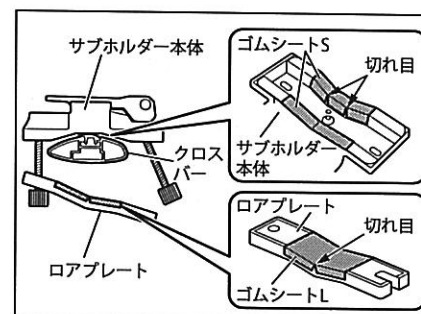
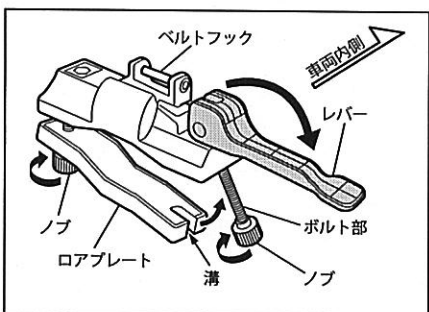
△ 注意

1. ラチェット本体とロアプレートの隙間が平行になるようにノブで調整してください。
2. フロントクロスバーとリヤクロスバーに風切音低減プレートが付いている場所を、できるだけ避けて取り付けを行ってください。

7. レバー1を倒してラチェット本体を固定した後、レバー2を折りたたみます。
8. カバーをカチッと音がするまで閉めます。
9. ボルトのつき出し部（2箇所）にボルトキャップを取り付けます。

サブホルダー本体の取り付け

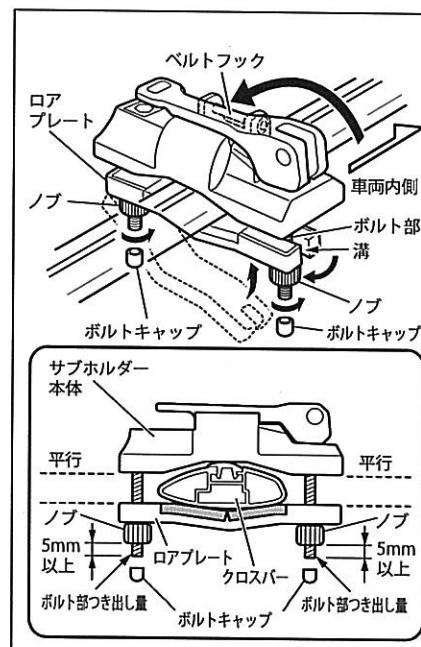
1. レバーを持ち上げ、ノブをリリースした状態にします。
2. ノブを回しロアプレートの溝からボルト部を外します。



3. 図示に従い、サブホルダー本体とロアプレートがクロスバーと当たる面にゴムシートを貼り付けます。

△ 注意

ゴムシートを貼り付ける際、貼り付ける位置の水分・ほこり・油分等を充分拭き取り、脱脂処理をしてください。



4. サブホルダー本体をクロスバーに載せ、ロアプレートの溝にボルト部を引っ掛けます。

△ 注意

ベルトフックが車両内側になるように配置してください。

5. 両側のボルト部つき出し量が5mm以上になるようノブで締め付けます。

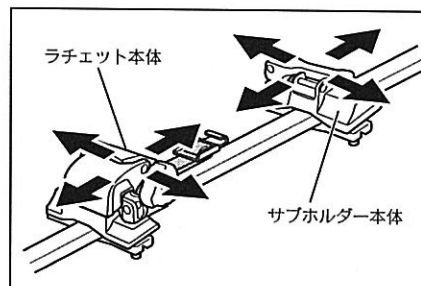
△ 注意

1. サブホルダー本体とロアプレートの隙間が平行になるようにノブで調整してください。
2. フロントクロスバーとリヤクロスバーに風切音低減プレートが付いている場所を、できるだけ避けて取り付けを行ってください。

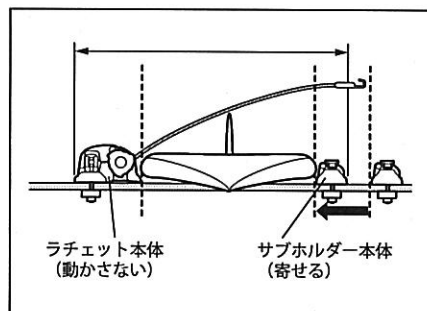
6. レバーを倒してサブホルダー本体を固定します。
7. ボルトつき出し部（2箇所）にボルトキャップを取り付けます。
8. 本品を前後左右に揺すり、緩みがないことを確認します。

△ 注意

緩みがある場合は、ノブを増し締めしてください。



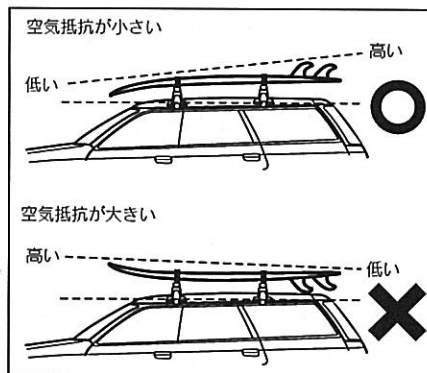
積載方法



1. ラチェット本体とサブホルダー本体が積載物となるべく近づくように、サブホルダー本体の位置で調整します。

△ 注意

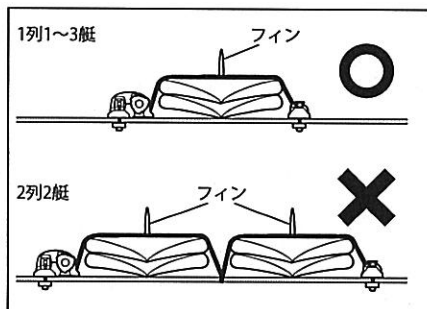
1. ラチェット本体とサブホルダーが積載物と離れていると、十分な固定ができません。
2. 必ず積載物の幅に合わせて各本体の位置を決定してください。



2. ボードを積載する際は、車両の後側が高くなるようにします。

△ 注意

車両の前側が高いと、空気抵抗が大きくなりボードの破損や脱落の恐れがあります。



3. ボードは必ず1列で積載してください。

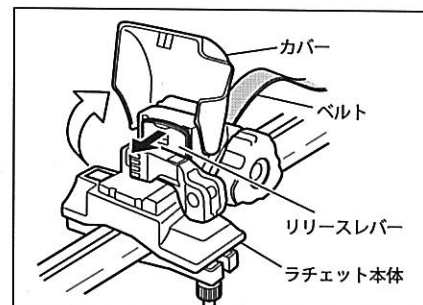
△ 注意

1. ボードを2枚積載する場合は、フィンが外せるボードのみ積載ができます。
2. ボードを2列で積載すると固定力不足により脱落し、後続車や人を事故に巻き込む恐れがあります。
3. ボードを過度に締めすぎると割れ、ヒビ、へこみの原因となる恐れがあります。

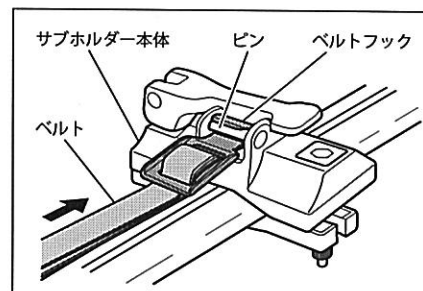
👉 アドバイス

ボードにベルトの跡、スリ傷が付く場合がありますので、布などの緩衝材をご使用ください。

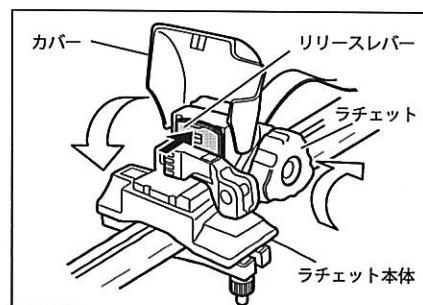
ベルトの締め付け



1. ラチェット本体のカバーを開き、リリースレバーを手前に引きながらベルトを開放します。



2. ベルトを伸ばし、サブホルダー本体のピンにベルトフックを下側から掛けます。



3. ラチェットを両手で回しながらベルトを締め付け後、カバーをカチッと音でするまで閉じます。

△ 注意

1. カバーを閉じないと何らかの外部から力が加わった場合、リリースレバーが解除され、積載物が脱落する恐れがあります。
2. リリースレバーが完全に戻っていないと、カバーが閉まりません。

日常のお手入れ／保管方法

△ 注意

- ・本品が汚れた場合は、水洗いをしてください。洗剤・ワックスを使用した場合は、本品の素材を劣化させる恐れがあります。
- ・本品に潤滑スプレー、油、グリス、シンナー、洗剤を使用しないでください。種類によっては、本品の素材を劣化させ、割れなどが発生する恐れがあり、本品が脱落し、後続車や人を重大事故に巻き込む恐れがあります。
- ・本品を長期間使用しない場合は、直射日光、高温、多湿を避けて保管してください。

使用上の注意事項

△ 注意

1. 本品の本体重量は 3.2kg です。
2. 走行前にアタッチメント又は積載物を揺すって、確実に固定されているか確認してください。緩みがある場合は積載物の固定をし直してください。
3. 強風時や悪路では十分速度をおとして走行してください。法定速度以上での連続走行や、強風時/悪路での過度な走行をすると、アタッチメントが脱落する恐れがあります。
4. バックドアを開けた時に積載物が当たらないように注意してください。もし当たる場合は、アタッチメント又は積載物の取り付け状況を確認してください。
5. ボードはケース等に入れた状態で積載しないでください。
6. アタッチメント装着時は、洗車機を使用しないでください。車両、積載物又は洗車機が損傷する恐れがあります。
7. 急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。積載時に急操作をすると、アタッチメントの取り付け位置がずれて車両や積載物が損傷する恐れがあります。やむを得ず急操作をした場合は、必ずアタッチメントの取り付け状態を確認してください。
8. ベルト又はベルトフックに損傷、破損等がある場合は使用しないでください。
9. 無積載で走行するときは、必ずアタッチメントを取り外してください。走行時にベルトのばたつきによる異音が発生する場合があります。
10. アタッチメントは、直射日光の当たらない場所で保管してください。紫外線により、ベルトが劣化する場合があります。また、ベルトは必ず指定のものを使用してください。
11. アタッチメントのネジ部等には、給脂しないでください。
12. ベルトは、ご使用ごとに必ず裏表を点検し、以下の現象が見られたらただちにご使用を中止し、新品と交換してください。
 - ・ ベルトの表面がケバ立ってきたとき。
 - ・ ベルトに損傷、破損があるとき。
 - ・ ベルトの一部もしくは、ある区間の色が薄く変わったとき。
 - ・ ベルトの縫い糸にほつれや切れがあるとき。
 - ・ ベルトに熱や化学薬品による損傷が見られたとき。
 - ・ ベルトフックが欠落、損傷、変形、磨耗、サビのあるとき。
13. ベルトを締め付ける場合は、へこまない程度に確実に締め付けてください。過度に締め付けるとボード本体に割れ、へこみ等が生じる恐れがあります。

ご不明な点はお買い求めのレクサス販売店へお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社